

施設配置適正化基本計画 構成(案)

1 施設配置の適正化に取り組む背景

- (1) 少子高齢化、人口減少
- (2) 厳しい財政状況
- (3) 公共施設の老朽化
- (4) 公共施設の更新費用の増大

2 明石市の公共施設を取り巻く課題

- (1) 増加する施設更新費用への対応
- (2) 老朽化していく施設への対応
- (3) 新たな市民ニーズへの対応
- (4) インフラへの対応

3 施設配置の適正化の基本方針

(1) 基本方針

- (例)：①施設更新のための優先順位をつける
②公民連携を積極的に推進する
③インフラはライフサイクルコストの削減と長寿命化で対応

(2) 数値目標

- (例)：〇〇年間で施設総量を〇〇%縮減

4 施設配置の適正化の取組手法

(1) 施設の有効活用

- ①行政サービスの見直し
- ②余剰スペースの洗い出し
- ③使用調整の検討(施設の廃止、転用、複合化、集約化等)
- ④施設の広域化

(2) 計画的な改修による建物の長寿命化

- ①予防保全による長寿命化と安全性の確保
- ②財政負担の平準化

(3) 効率的な管理運営

- ①日常的な施設管理の効率化
- ②受益者負担の適正化

5 施設種別ごとの方向性

(1) 施設の分類

※行政系施設、市民文化系施設、保健・福祉施設、スポーツ・レクリエーション施設等

(2) 施設種別ごとの方向性

6 施設配置適正化の進め方

- (1) 計画期間
- (2) 推進体制
- (3) 市民、議会との意見交換、市民協働
- (4) 取り組みの流れ